

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】平成29年7月13日 (2017.7.13)

【公開番号】特開2015-58138(P2015-58138A)
【公開日】平成27年3月30日 (2015.3.30)
【年通号数】公開・登録公報2015-021
【出願番号】特願2013-193430(P2013-193430)
【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】平成29年5月30日 (2017.5.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

所定の抽選条件の成立に基づいて抽選を行い、該抽選の結果が当りの場合に所定の遊技利益を付与する遊技機であって、

遊技者が操作可能な演出用操作手段と、

前記演出用操作手段を振動させる振動手段とを備え、

前記振動手段は、前記演出用操作手段の操作に関係なく前記演出用操作手段を振動させるものであるであって、

前記演出用操作手段の操作に関係なく前記振動手段が前記演出用操作手段を振動させるときに、該振動手段による振動を別演出によって遊技者に知らせることなく実行する秘匿振動演出手段をさらに備える、

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 3

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 4】

【特許文献 1】特開 2 0 1 3 - 0 3 4 6 8 2 号公報

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0007
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正6】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0009
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0009】

本発明は、

所定の抽選条件の成立に基づいて抽選を行い、該抽選の結果が当りの場合に所定の遊技利益を付与する遊技機であって、

遊技者が操作可能な演出用操作手段と、

前記演出用操作手段を振動させる振動手段とを備え、

前記振動手段は、前記演出用操作手段の操作に関係なく前記演出用操作手段を振動させるものである、

前記演出用操作手段の操作に関係なく前記振動手段が前記演出用操作手段を振動させるときに、該振動手段による振動を別演出によって遊技者に知らせることなく実行する秘匿振動演出手段をさらに備える、

ことを特徴とする。

また、本発明とは別の発明として以下の手段を参考的に例示する。

(手段1) 遊技機において、遊技者の操作によって遊技が行われ、始動口を有する遊技領域を有した遊技盤と、該遊技盤を脱着可能に支持する本体枠と、扉枠と、前記始動口への遊技球の入球に基づいて、大当たりについての当落にかかる判定処理を行う大当たり判定手段と、前記大当たり判定手段による判定処理にて前記大当たりが当選されたことに基づいて、遊技者に特典が付与される特別遊技を行う特別遊技実行手段と、複数の画像図柄が変動表示演出される所定の表示画面を有する演出画像表示装置と、前記大当たり判定手段による判定処理が行われたとき、前記複数の画像図柄についての変動表示演出にかかる演出制御を行う演出制御手段と、を備え、前記演出制御手段による変動表示演出にて前記複数の画像図柄がそれぞれ停止表示されたときの前記所定の表示画面にて特別な図柄組み合わせが現れたときには前記判定処理にて大当たりが当選されたことが遊技者に示される遊技機であって、前記演出制御手段は、前記複数の画像図柄のうちの一部のみが所定の停止態様にて表示されるリーチ状態を形成してから、複数の特定演出画像が順次表示されるリーチ演出を行うリーチ演出実行手段と、前記リーチ状態として、大当たりが当選される確率の異なる第1リーチ状態と第2リーチ状態を設定するリーチ状態設定手段と、を備え、前記扉枠は、前記本体枠の前面に対して開閉可能に支持されると共に閉鎖した時に該本体枠に支持された前記遊技盤の少なくとも前記遊技領域が遊技者側へ臨む遊技窓を有した扉枠ベースと、前記扉枠ベースの前面且つ前記遊技窓より下側に配置され遊技媒体を貯留可能な貯留部を有する貯留ユニットと、遊技者が操作可能な接触型入力装置と、前記接触型入力装置の近傍に設けられた発光装置と、前記接触型入力装置を振動させる振動発生装置とを備え、前記リーチ状態が、前記第1リーチ状態のときには、前記発光装置を発光させ、前記リーチ状態が、前記第2リーチ状態のときには、前記発光装置は発光せず、前記振動発生装置が前記接触型入力装置を振動させることを特徴とする。